

平成 19 年 4 月 6 日

各 位

東京都渋谷区渋谷二丁目 15 番 1 号  
会社名 株式会社アスキーソリューションズ  
代表者名 代表取締役社長 田 北 幸 治  
(コード 3801・ヘラクレス)  
問合せ先 執行役員管理本部長 雨 宮 哲  
(電 話 : 03-4524-6015)

### 特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 3 月期において、下記のとおり特別損失の計上と平成 18 年 11 月 24 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)通期業績予想を修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生について

当事業年度下期以前より取り組んでおりましたソリューション事業の大型受託案件について、当 3 月期において売上を計上することができないことが事実となりました。本案件における売上高は 400 百万円程度を見込んでおり、相当額の粗利益を見込んでおりましたが、今回、仕掛品等の再評価を行った結果、既計上分等も含めまして約 280 百万円の特別損失を計上することとなりました。本案件につきましては、既に仕様変更等による納期遅れに伴う遅延損害金 30 百万円を中間期におきまして特別損失に計上しておりますが、その後、納期、品質面において客先との最終合意に至らず、まことに遺憾ながら、今回、財務の健全性等合理的な判断により、損失を確定する処理を行うことと致しました。

今後は、既に下期以降、最優先にて取り組んでいることではありますが、特に大型案件への参画にあたっては、受注前の検討を十分に行うのはもちろんのこと、契約締結に際しては、企画、開発、保守、運用までの各フェーズ毎の個別契約の細分化によってリスク分散を図るとともに、仕様変更、契約変更等の厳格な管理を徹底し、再発防止に努める所存であります。

本案件からの撤退により、多くの人的、物的資源が結果として浪費されることとなりましたが、既に新規の優良案件への取り組みへシフトを始めており、先般お知らせいたしました新組織体制の下、具体的数値につきましては、新年度計画に織り込まれる予定となっております。

## 2. 業績修正について

(1) 平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)  
(単位: 百万円, %)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,000	121	53
今回修正予想 (B)	2,300	320	600
増減額 (B - A)	700	441	653
増減率 (%)	23.3	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	2,222	154	151

### (2) 修正の理由

通期業績予想につきましては、前述の大型受託案件からの撤退による売上見込減 400 百万円のほか、パッケージソフト事業における大型バージョンアップ製品の市場投入の遅れもあり、売上高は 2,300 百万円に留まる見通しであります。経常損益につきましては、前述のほか、当初より見込まれておりました主として人件費等の先行投資費用など販売費・一般管理費等の増加及び一部の仕掛品に関して、会計上、厳格かつ保守的に判断して費用計上したこともあり、320 百万円となる見通しとなっております。当期純損益につきましては、前述の特別損失の計上により 600 百万円となる見通しとなっております。

なお、本日発表させていただいた内容は、前述の特別損失の計上並びにその他収益に与える影響が大きいため、現時点で把握しております他の数値と併せ早期に開示しております。

当期が終了直後ということもあり多分に不確定要素を含んでおり、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上